

平成二十三年度

高等学校入学者選抜学力検査問題

国
語

注 意 事 項

- 一 問題は、一ページから七ページまであります。
- 二 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。

— 次の文章には、弓道部に所属する中学三年生の伊吹早弥が、県大会を前に弓道場で練習をしているときのこと書かれている。この文章を読んであとの問いに答えなさい。(13点)

感覚がおかしい。早弥は体操着のポケットにそっと左手を入れた。^{注①}まごをもう一度握る。この感じ。忘れないうちに、弓を握る。歯を食いしばって、もう一度的に向かう。思い切り、弦を引いた。

やはり、外れた。

「こんにちは。」

そのとき、玄関からだれかの声があった。やわらかな声だった。

え？ 懐かしい。それがだれかわかったとたん、早弥は

振り返った。^{注②}「坂口先生！」^{注③}実良が大声で叫び、そのままそばへかけ寄った。早弥も春もわつと先生を取り囲んだ。^{注④}

「練習中に失礼します。」

「いいえ、お久しぶりです。お体は大丈夫ですか。」^{注⑤}澤田先生も出てきた。

久しぶりに見る先生は、なんだか少し小さくなったような気がした。

「はい、大丈夫ですよ。試合前にどうしてもみなさんにお会いしたくてね。」坂口先生はにこにここと笑っている。「いつからいらっしやったんですか。」「十五分ほど前です。ここで拝見させていただいていました。」

「えー、ぜんぜん気づかんかった。」

驚く実良を、坂口先生は感慨深そうに見つめた。「集中していましたからね。松原さん、あなたすっかり力を取り戻しましたね。すばらしいです。」「そんなあ。」「いえ、たいしたものですよ。」

実良は首を振った。「みんながおったから……。」照れくさそうだ。

1 「そういうところも成長しましたよ。もう大丈夫です。」

実良はうれしそうに、坂口先生の手をぎゅつと握った。

「石田くんは、立派な落ちです。」^{注⑥}あなたが最後に控えているおかげで、二人も安心でしょう。」そのとおりだ。春は、早弥や実良が外そうが中て

ようがびくともしない。「ありがとうございます。」春はかしこまった感じでお辞儀をした。

先生の穏やかな目がこちらを見た。早弥はうつむいた。自分ひとりだ

け、大きく立ち遅れている。先生のいない間の成長を見せることができなかつた。顔が上げられない。

そんな早弥に、坂口先生は意外な言葉をかけてくれた。

「伊吹さんも頼もしいですよ。見まがうくらいの気迫を感じますよ。」

早弥はおずおずと顔を上げた。^{注⑦}「頼もしくなんかありません。全然だめです。」首を振る早弥の後ろから、澤田先生が懇願するように言った。

「先生、いいところに来てくれました。ちょっと指導してやってください。」

伊吹、市内大会からこっち、スランプらしくって、正直、まいっとなんですわ。素人のほくではどうにもなりません。」泣き出しそうな声を張りあげる。

「そんなことはないですよ。澤田先生も立派にやってらっしゃいます。」

坂口先生からほめられて、澤田先生は大きな体をちぢこめて、子どもみたいに照れ笑いした。

坂口先生は優しい微笑みを浮かべたまま早弥に向かった。

「もう言うことはないと思いますけどね。基本はしっかりしていますよ。足腰の安定もぐつとよくなっていますね。伊吹さん、あなたよく練習しましたね。」

「早弥は、あたしの練習にもずっと付き合ってくれてました。」口ごもる早弥のかわりに、実良は答えた。

「そうでしょうね。大丈夫です。今、ちよつと具合が悪いのは、思いが強すぎるからではないですか。」

思いが強すぎる。心の中で反芻注⑦はんすうしてみる。大きな心当たりにごろりとふれた。はつと顔を上げる。注⑧おぼろほ大前、県大会、九州大会。そして、全国大会。がっちりかちと絡み合つて心の中に居座つていた。

「志を強く持つのはいいですけど、心がそれに支配されてしまつては、振り回されます。よい矢を射ることができませんよ。」

「はい。」³

坂口先生の声は、がちがちした心の塊にゆつくりと響くようだった。硬くなった体もやわらかくほめていくのを感じた。

(まはら三桃「たまごを持つように」による。)

- (注) ① うずらのたまご。弓を柔らかく握る練習のために持ち歩いている。
 ② 七十八歳の弓道部の監督。病気で半年ほど指導を休んでいた。
 ③・④ それぞれ「松原実良」、「石田春」。ともに弓道部の部員。
 ⑤ 弓道部の顧問。 ⑥ 三人一組で行われる、弓道の団体戦の最後の射手。
 ⑦ 繰り返し考えること。 ⑧ 弓道の団体戦の最初の射手。

問一 二重傍線(〓)部⑥、⑦の漢字に読みがなをつけなさい。

問二 次のア～エの中から、本文中の□の中に補う言葉として、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア がっかりした様子で イ はじかれるように
 ウ のんびりした様子で エ おじけづくように

問三 本文中には、存在を表す「いた」という言葉を、尊敬語を用いて

表現している部分がある。その部分を、本文中から抜き出さないさい。

問四 傍線部1で示されている、実良の成長した点とは何か。次のア～

エの中から、最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア だれに対しても恥ぢらうことなく気さくに話をしている点。
 イ 丁寧な言葉遣いで礼儀正しく人と接しようとしている点。
 ウ 他の部員の練習にも熱心に付き合う思いやりのある点。
 エ 周囲の人への感謝を忘れず謙虚な気持ちを持っている点。

問五 次のア～エの中から、傍線部2のように早弥が答えたときの気持ちとして、最も適切だと考えられるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自信を持っている点をほめられてうれしい気持ち。
 イ 坂口先生に上達した姿を見せられず引け目を感じる気持ち。
 ウ 弓を握る感覚がおかしいことを隠そうとする気持ち。
 エ 坂口先生が指導に来てくれなかったことを責める気持ち。
 問六 傍線部3のように答えた早弥は、どのような気持ちになったか。坂口先生とのやりとりを通して早弥が気付いたことを含めて、四十字程度で書きなさい。

二 次の記事を読んで、あとの問いに答えなさい。(15点)

私自身、子どもの頃から笑いに親しんできた。小学校低学年、友人たちと夢中になって回し読みしたギャグ漫画。自分でも、下手くそなギャグ漫画を描きもした。幼い頃から、父や祖父に連れられて寄席に通った。大学生になっても寄席にはだいたいぶ通って、眞眞の芸人さんもできた。そして、この数年、眠りに就く前にはイギリスのコメディを観るのが最高の喜びとなっている。

一体、人間にとって笑いとは何なのだろうか？ 生きる上で、笑うということはどのような意味を持っているのだろうか？ 笑っている時に、人間の脳の中では何が起きているのか？ そのような問題に、ずつと関心を抱いてきたのである。

笑いとは、決して気楽なものではない。時にそれは、生きるということの切なさ、難しさと結びついている。恐怖や不安が笑いのはいけいにあることも多い。イギリスのコメディでは、社会に対する風刺が笑いの原動力になっている。

その一方で、笑いのプロフェッショナルたちは、単なる批判では笑いにならないことも知っている。あくまでも、目的が「笑う」ことだとすれば、その大目標を達成するためには、絶妙なバランスと、繊細な文脈の設定が必要となるのだ。

笑いのためには、時には身を捨てることも必要である。自分の欠点、ダメなところを客観的に見ることができるか。そのような「メタ認知」

① の能力が、笑いには欠かせない。ある人が、自分の欠点を懸命に隠そうとすると、周囲の人たちはかえってそのことが気になって仕方がなくなるのである。自分の一番いたいポイントを、人前でユーモアをもって話すことができる人は、それだけ自分自身から解放されている。

「ある人の価値は、何よりも、自分自身からどれくらい解放されているかという事で決まる」。

④ 相対性理論を創った天才物理学者、アルベルト・アインシュタインは、そのように言った。そのアインシュタインは、生涯にわたってユーモアのセンスを忘れなかった人だった。そのことと、アインシュタインが相対性理論という革命を成し遂げたことは関係しているかもしれない。

自分自身をメタ認知して、苦しいことを笑いに転化することができる。まば、それだけ生きる上での前向きなエネルギーを得ることができる。また、自分の欠点をしっかりと見据えることで、その改善を図ることができる。欠点を隠して、うやむやにしたり、実際以上に自分を大きく見せようとしたりするよりは、はるかに素晴らしい人生を送ることができる。

② 「笑い」は、人生の階段を上るための支点である。生きる以上、どんな人にも苦難はおとずれる。しかし、笑いがあれば、逃れようがないように見える泥沼からも、すつと身体を浮かび上がらせることができる。笑いは、人と人とのコミュニケーションを円滑にする。ざらざらとした非難の代わりに、愛のあるツツコミをやりとりすることができる。笑いがあれば、経済や社会の状況がどんなに悪くなくても、なおも前向きの気

持ちを忘れずに、日々を生きていることができる。

(茂木健一郎「笑う脳」による。)

(注) ① 落語や漫才などを上演する場所。 ② 喜劇。

③ ここでは、自分の思考や行動を客観的にとらえて理解すること。

④ 物理学の基礎理論。

⑤ ここでは、相手の言動のおかしさなどを、漫才のように指摘すること。

問一 二重傍線(=)部①、②、③のひらがなを漢字に直し、④の漢字に読みがなをつけなさい。

問二 波線(〰)部ア、オの中には、品詞の分類からみて同じものがある。それは、どれとどれか。記号で答えなさい。

問三 傍線部1では、特徴のある表現が用いられ、効果をあげている。次のア、イの中から、傍線部の表現上の特徴とその効果を説明したものとして、最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア 主語の省略により、集団の行為であることを暗に伝える効果。

イ 体言で文を終えることにより、回想風の味わいを出す効果。

ウ 対句的な表現を用いることにより、リズム感を生み出す効果。

エ 同じ言い回しの反復により、筆者の気持ちを強調する効果。

問四 本文中に②で示した段落には、この段落における筆者の主張に説得力を持たせるために、主張とは対照的な事例をあげている一文がある。その一文の、最初の四字を抜き出さなさい。

問五 傍線部2のように筆者が述べているのは、笑いによって何を得られるからか。笑いによって得られるものを、それを得る方法を含めて、五十字以内で書きなさい。ただし、客観的という言葉を用いること。

問六 次のア、イの中から、筆者が本文で述べている笑いについての考えが具体的に表れている状況として、適切でないものを選び、記号で答えなさい。

ア 中学校に入学した日、新しい友だちができるか心配だったが、自己紹介のときに、朝うっかり小学校へ行くこととしてしまった笑い話を交えたら、初対面の人たちとも仲良くなれた。

イ 合唱大会まであと三日しかないとき、クラス全員が焦っていたが、「僕らの優勝まであと三日しかないってこと？」と大声で言うのと笑いが起こり、その後集中して練習できた。

ウ 部室が汚れていて不快だったが、他の部員と半日がかりで清掃をすると見違えるほどきれいになり、うれしくなって笑いがこみあげ、思わず歌を口ずさんだ。

エ 体育の授業の跳び箱で失敗してしまったが、「これが跳び方の悪い例です。」と言うと、みんなが笑って励ましてくれたので、次は成功するぞという気持ちでスタート位置へかけ戻った。

三 放送委員のあなたは、昼の校内放送で、職場体験学習を行った生徒の体験談をインタビュー形式で紹介することになった。次の文章は、市立図書館で職場体験学習を行った原さんと一緒に作成している、放送原稿の一部である。この文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(9点)

質問者：今回、市立図書館で職場体験学習を行った理由は何ですか。

原さん：はい。小さなころから絵本が好きで、親とよく市立図書館に行きました。小学生になると図書館の方とも仲良くなって、図書館の仕事に興味を持つようになったからです。

質問者：そうでしたか。¹図書館には司書という方がいるそうですが。

原さん：本の貸し出しや返却の受付のほか、利用者の調べものを手伝ったり、図書館にどの本をおくかを決めたりする仕事を行います。それ以外にも多くの仕事があり、私はそれらのお手伝いをしました。

質問者：分かりました。実際にやってみていかがでしたか。

原さん：とにかく忙しかったです。本や雑誌、新聞からCD、ビデオまで、²多くの人が様々な図書などが利用していることが分かりました。

質問者：たいへんだったんですね。では、そのような職場体験の中で何か心に残ったことはありませんか。

原さん：今回、図書館の催しで絵本の読み聞かせをしました。最初は緊張しましたが、読み終えてから、参加してくれた小さな子どもたちや大人の方から、「お話とても面白かったよ。」「朗読も上手でしたね。」などと言われて、とてもうれしく感じました。

質問者：それは本当に良かったですね。原さんにとって図書館とは、図書と出会うだけでなく、¹ということですね。

問一 一般に、インタビューをするに当たって心がけるべきことがある。次のア～エの中から、心がけるべきこととして、最も適切なものの一つを選び、記号で答えなさい。

ア インタビュ어의テーマや相手について下調べしておく。

イ インタビュ어의相手はできるだけ親しい人の中から選ぶ。

ウ 相手の本音を聞くため事前にインタビュ어의依頼はしない。

問二 質問の内容が明確になるように、傍線部1に問いかけの文を加えたい。傍線部1のあとにつなげて文意が通じるように、適切な問いかけの文を書きなさい。

問三 傍線部2を、助詞だけを一語直すことによって、適切な一文にしたい。傍線部2の中の、直すべき助詞を含む一つの文節を、適切な形に直して書きなさい。

問四 本文中で、原さんが答えやすくなるように、質問者が配慮している点がある。次のア～エの中から、原さんに配慮している点として、最も適切なもの一つを選び、記号で答えなさい。

ア 原さんの日常の学校生活についても質問をしている点。

イ 「はい」か「いいえ」だけで答えられる質問をしている点。

ウ 質問者自身が体験したことを交えながら応答をしている点。

エ 原さんが答えた内容に共感的な態度で応答をしている点。

問五 放送の聞き手が理解しやすくなるように、本文中の【 】に、原さんの話の内容をまとめる発言を入れたい。原さんの話の内容をふまえて、【 】の中に入る適切な発言を書きなさい。

【 】

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(7点)

注① いなぐらいがのしみ
板倉伊賀守殿、京都を守護し給へるころ、三条橋頭にて金三両を拾へる人あり。落としたる人いかにうれふらんと、さまざまもとむれども人がいた。どんなに悲しんでいるだろう。探したけれども出で来た人なし。せんかたなく官に訴へければ、このよしを書き付け、名のり出てきた人。どうしようもなく。訴えたところ。(板倉殿はこの内容を) 辻々に張らせ給ひしかば、落としたる人出で来たりて、「我落とせしも、彼の者拾へるも皆天なり。我とるべきにあらず。」と辞す。拾へる人は訴へ出づるほどのことなればもとよりうけず。互ひに譲りければ、「今の代に

もかかるめづらしき訴へをきくことのうれしさ、堯・舜の民ともいひつべし。」と大いに感じ給ひて、我もその中に交はらんとて、又あらたに

よいくらいだ。感じ入りなさつて。加わろうと思つて

注② ア
注③ イ
注④ は
注⑤ げり
注⑥ しゆん

注⑦
金三片を出だし、六片となし、兩人へ二片づつあたへ、残る二片を自ら納

め給ひ、「この後汝等むつましくせよ、何事によらずおもふことあらば

聞こゆべし。」と、
怒ろに仰せ給ふとなん。
心をとめておつしやうたということだ

申してこい

(三熊花顯・伴蒿蹊「続近世畸人伝」による。)

(注) ① 板倉勝重。江戸時代初期の人。 ② 役所。 ③ 運命。 ④ 世の中。

⑤・⑥ いずれも中国で理想の政治を行ったとされる帝王。 ⑦ 三両。

問一 二重傍線(=)部を、現代かなづかいで書きなさい。

問二 波線(〰)部ア、イの中から、その主語に当たるものが同じであるものを二つ選び、記号で答えなさい。

問三 傍線(――)部の状況を、板倉伊賀守はどのような策を用いて解決したのか。本文に書かれている、解決策の内容を具体的に書きなさい。

問四 本文中の [] には、この話の内容についての筆者の感想が記

されている。その感想はどのようなものであると考えられるか。次のア、イの中から、最も適切なものをつ選び、記号で答えなさい。

ア 上に立つ者に情けや思いやりがあると、民衆も正しい行いを好むとはこのことであるよ。

イ 上に立つ者が立派な人でなくとも、民衆同士の誠実な人柄で事がおさまるとはこのことであるよ。

ウ 民衆が儉約に努めているときは、上に立つ者も質素な生活をすべきであるとはこのことであるよ。

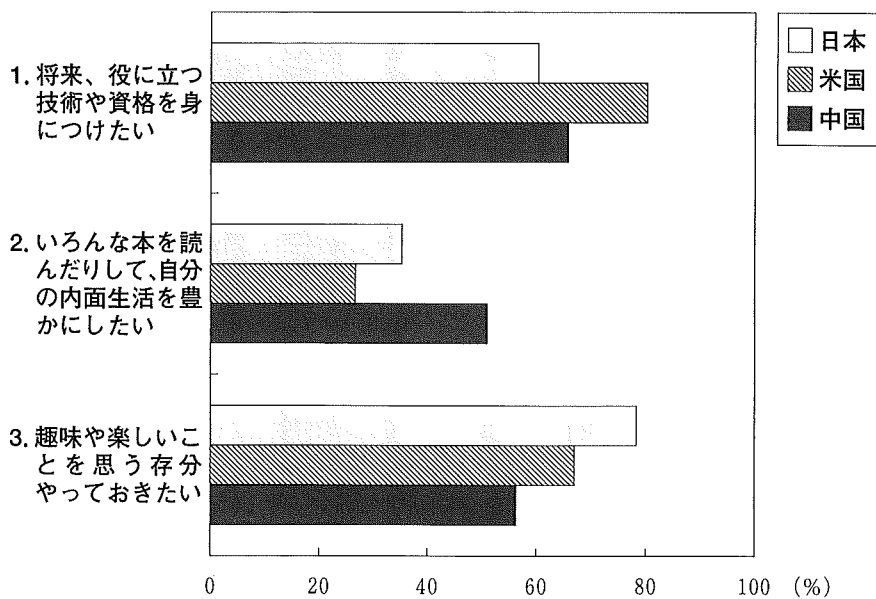
エ 民衆が良い行いをしていることに感動して、上に立つ者が自らの行いを恥じるとはこのことであるよ。

五

左のグラフは、日本・米国・中国の高校生に、「若いうちにぜひやっておきたいこと」について調査した結果を表したものである。グラフは、回答者が、1～3のそれぞれの項目について、「ぜひそうしたい」と答えた割合を示している。

あなたは、このグラフから、どのようなことを考えるか。あなたが考えたことを、あなたが体験したことや学んだことなど、身近なところにある事柄と関連させて、百五十字以上、百八十字以内で書きなさい。(6点)

若いうちにぜひやっておきたいこと



注1 日本青少年研究所「高校生の意欲に関する調査報告書 (2007年発行)」により作成

注2 調査国、調査項目の中から3つの国と3つの項目を取り上げたもの (このグラフの調査対象は日本・米国・中国の高校生、計約5,000人)